

衣替え時のお洗濯・収納の仕方

衣替え収納前の「型崩れしにくい」「しわになりにくい」お洗濯の仕方や、翌シーズンすぐに出せる収納ケースへの収納の仕方などいろいろご紹介します。市販されている香り付きの洗剤・柔軟剤で香りを楽しみながら、是非お試しください。

お洗濯編



[香りで衣替えを楽しもう!]夏物を収納する前のお洗濯で気をつけたいポイントは?

はじめに・・・

お気に入りの夏物は、きちんとしまっておいても来年も活躍させたいですね。でも、近ごろは暑さが長引くせいもあり、衣替えはちょっとおっくうになりがち。そこで今年は、[香りで楽しむ衣替え]でモチベーションをアップすることに！お気に入りの香りが残る柔軟剤を使って、衣替え前のお洗濯を実践してみました。

気をつけて!残った汚れのエイジング

衣類の汚れが残っていると時間の経過によってシミや黄ばみ、ニオイに変化してしまうのだとか！これを**汚れのエイジング**というそうです。ちゃんとお手入れしないと後悔するのは夏のお肌も衣類も同じなんですね。お気に入りの洋服が翌年取り出してみたら台無しに…なんてことのないよう、収納前にはどんなことに気をつけたらよいのでしょうか。

汗や皮脂はしっかり落ちている?

汗や皮脂の分泌が多い夏は、ちゃんと洗ったつもりでも衣類の汚れが落ち切れていないこともあるそうです。たくさん汗をかいたり、汚れ落ちに不安のある衣類は、一度洗っていても収納前にあらためてお洗濯するのがオススメ。また、夏の間クリーニングに出していた洋服も、通常のドライクリーニングでは水溶性の汚れが落ちにくいので、汗が繊維に残っていることが少なくないとか。絵表示を確認して水洗いが可能であれば、おしゃれ着用の中性洗剤を使って、手洗いまたは洗濯機のドライコースできちんと汗を落とす必要があるとのこと。繊維に残った汗や皮脂をしっかり落とすコツはというと……。

洗濯機に入れるまえに…



汗や皮脂の汚れがつきやすいエリ・脇の下の部分におしゃれ着用の中性洗剤の原液をつけ、指で優しくなじませます。洗濯ネットに入れてドライコースで洗います。Tシャツや綿ブラウスの場合は、スプレータイプの酸素系漂白剤をスプレーしてから、洗濯機に入れて洗うのも効果的。

全体的な汚れにはつけ置き洗い



全体的に汚れが気になるときは、つけ置き洗いが効果的。洗濯機に低めに水を張り、通常の洗濯と同じ量の洗剤を入れて約1時間つけ置き、その後は通常の水まで水を足して他の洗濯物と一緒に洗えば、水も洗剤も無駄になりません。

How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。



衣替え時のお洗濯・収納の仕方

お洗濯編



[香りで衣替えを楽しもう!]夏物を収納する前のお洗濯で気を付けたいポイントは?

洗濯機の使い方も要チェック!

◆ 洗濯物は詰め込み過ぎない ◆ 洗濯槽の汚れもチェック

◆ 洗剤は適量を守って使う

これらが守られていないと、せっかく洗っても汚れが落ち切れなかったり、ニオイが残ってしまうことも!

■ シワや型くずれを防ぐ脱水と干し方のコツ

脱水の仕方や干し方のちょっとしたコツで、選択シワや型くずれを防ぐことができます。ぜひ、お試しを!

脱水しすぎはシワや型くずれの原因に

脱水時間が長すぎると、シワや型くずれの原因になってしまいます。

まず、絵表示を確認し、のマークがついているかどうか見てみましょう。これは、手洗いなら「弱くしぼる」、洗濯機なら「短時間で脱水する」という意味です。

ちょっとアドバイス!

全自動洗濯機で1~2枚だけ脱水時間を短時間にしたい場合は、以下の方法で。洗濯ネットを上手に使いえば、シワになりやすいワイシャツや薄手のシャツも、ほかの衣類と一緒に洗えます。

【手順】

- (1) 脱水時間を短くしたいものを、あらかじめ洗濯ネットに入れておく。
- (2) 脱水は手動で「短時間」に設定しておく。
(目安 綿のワイシャツで1分、その他のシフツなりの薄手の衣類は15~30秒)
- (3) ほかの衣類と一緒に洗濯し、脱水まで行う。
- (4) 短時間脱水が終わったら、洗濯ネットごと、先に取り出す。
- (5) 残りの衣類だけで、再度脱水のみセットする。

洗濯機の使い方も要チェック!

■ シワを防ぐ干し方

脱水が終わったら、洗濯物をできるだけすぐに取り出して、干しましょう。シワをのばしてから干すと、綿シャツなどの仕上がりがアップします。

【STEP1】
大きなシワを
のばす

軽くふりさばく

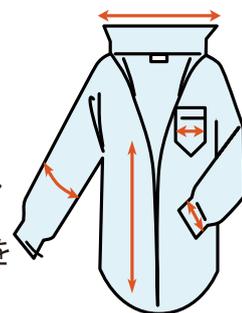


【STEP2】
細かいシワを
のばす

1. 一度たたんでから、手のひらでパンパンとたたいてシワをのばす。



2. えりや前立て部分、ポケット、そで口などのシワが目立つ部分を引っ張ってのばす。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

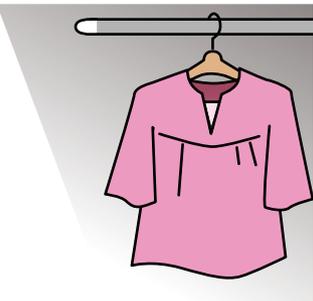


次ページへ ▶▶

■ 仕上がりに差が出る干し方いろいろ 衣類によって、絵表示に干し方マークがついているものもあります。干す前にチェックしておきましょう。以下に、ポイントを挙げてみます。

【陰干し】

絵表示が<陰干しマーク>のものや、毛、絹、ナイロンなど、日光で繊維が黄変や変質してしまうものは必ず陰干します。また、色の濃いものは日光で色あせしやすいので、色合いを大切にしたい場合は陰干しにしたほうがいいでしょう。



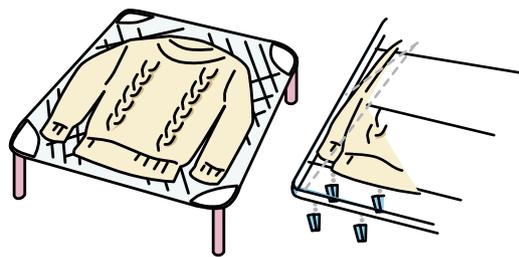
【筒状のつり干し】

厚手のパンツやジーンズ、スカート類など。裏返して筒状に干すと、乾きが早くなります。



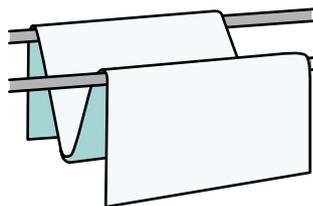
【平干し】

ニットなどの伸びやすい衣類やデリケートな衣類。ざっくり編んだローゲージニットやカットソーなど。平干しにすると、型くずれを防げます。専用の平干し台がないときは、ピンチハンガーの上を利用していいでしょう。



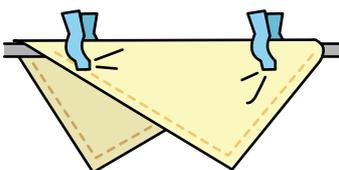
【M字干し】

2本のさおを使って干す方法。タオルケットやシーツ、ラグなどの大物類など。空気の通り道が多くなるので、乾きやすくなります。



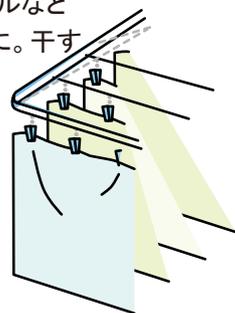
【三角干し】

タオルケットやシーツ、ラグなどの大物類など。水滴が1か所に集まり、乾きが早くなります。



【じゃばら干し】

シーツやバスタオルなどの薄手の大物類に。干すスペースがないときに便利です。



まとめ

- ◆ センイに残った汚れが時間の経過でシミや黄ばみ、ニオイの原因に。
- ◆ お洗濯で、汗や皮脂などの汚れをしっかりと落としてから収納を。
- ◆ 仕上げには香りのよい柔軟剤を！作業が楽しくでき、風合いもキープ。

次は 収納編



衣替え時のお洗濯・収納の仕方

収納編



[香りで衣替えを楽しもう!]
正しい収納と防虫剤の置き方とは?

はじめに・・・

衣類を虫から守ってくれる防虫剤。ひと昔前はしょうのうのニオイを敬遠して無臭のものを選んでいましたが、今は心地よい香り付きの防虫剤がいろいろ市販されています。今年はそのような防虫剤を使って、[香りで楽しむ衣替え]を試してみよう!

しまい方の上手なポイントは?

衣替えは天気がよく湿度の少ない日に行なうのがベストですが、忙しい日を選んでもらえません。また、せっかくきれいに洗った衣類も、しまうときに汗がついては台無しです。残暑の際もエアコンを活用すればいつでもカラッと理想的な環境で衣替えができます。

■見やすいように立てて並べる



来シーズン、どんな夏物があるかすぐにチェックできるよう、衣類を下から積み重ねるのではなく、立てて並べておくと見やすくなります。また、立てて並べることにより、衣類の防虫剤の成分がまんべんなく行き渡ります。洋服をきれいに立てて並べるには、衣装ケースをタテに立てて洋服を積み重ね、最後に元に戻します。

■途中で出すものは端に入れる

近ごろは、暑さがぶり返したり、素材の季節感があいまいになり、秋以降も夏物が活躍することがあります。もしかしたら着るかもという服は端に収めておくと取り出しやすく便利です。

How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。



防虫剤の効果をしっかり発揮させるには？

防虫剤の成分は気体となって衣類を包み込みます。
この性質を生かすことが防虫剤の効果を発揮させるポイントになります。

■ 密封性のあるケースを選ぶ

防虫成分が逃げないように保管は密封性のあるもので。
衣装ケースなら引き出しタイプ
よりフタつきで取手部分のカチッと閉まるものがオススメ。クローゼットに収納するときは、オープンなウォークインクローゼットよりも扉の閉まるクローゼットの方が気密性が保たれるので効果的のようです。

■ 衣類の上に置く

防虫成分は空気より重く、上から下へと沈むので、防虫剤を衣類の上に置くことで防虫成分がくまなく広がります。反対に衣類の下に置いてしまうと効果が全体に行き渡りません。



■ 個数を守って使う

防虫成分は効果が及ぶ体積が決まっています。表示された目安の個数を守って使用しましょう。複数の防虫剤を置く場合は、均等に間隔をとって配置することで全体に成分が広がります。

■ 種類の違う防虫剤を一緒に使わない

防虫剤の種類は、ピレスロイド、パラジクロルベンゼン、ナフタリン、しょうのうの4つの成分に分かれます。違う種類を同時に使うと化学反応で液化してしまうこともあるので要注意！

💡 防カビ対策も万全に

虫とともに衣類の大敵といえばカビ。湿気が気になる場合は、防カビ剤配合の防虫剤や衣類用の防湿シートを使用しましょう。

ちょっとアドバイス！

■ 平干しで型くずれを防止

脱水したらすぐにとり出し、タテ・ヨコ2つに軽くたたみ直し、たたいてシワをのばします。さらに広げて軽くたたきながら、形をととのえます。ザックリと編みであるサマーセーターやカーディガンは、のびやすいので、型くずれを防ぐには、平干しがベスト。

まとめ

- ◆ 気密性を保って収納し、防虫剤は個数を守って衣類の上に置く
- ◆ 衣装ケースにしまう場合は、立てて並べると便利で、防虫剤の効果も大
- ◆ 残暑の際は、エアコンを活用し快適な環境で衣替えを

※この記事に含まれる情報の利用は、お客様の責任において行なってください。

資料協力：
花王株式会社
「マイカジスタイル」より



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

